



株主のみなさまへ

第 **82** 期

2021年4月1日 —————→ 2022年3月31日

決算報告書

株式会社 **ジャムコ**

証券コード：7408





代表取締役社長CEO 阿部 俊之

✦ 社長就任のご挨拶

このたび、代表取締役社長CEOに就任いたしました阿部俊之です。

株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2016年から6年間にわたり務めてこられた大喜多前社長より、当社ジャムコの舵取りの櫂を受け取りました。目の前に広がる世界情勢は極めて複雑かつ不透明な状況ではありますが、ジャムコの新たな成長の実現のために覚悟をもって取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)がもたらした脅威により、2021年度においても世界経済は大きく混乱したまま、特に航空業界は、グローバルな人流抑制、サプライチェーンの分断、物流の停滞などにより甚大な影響を受けました。当社の2021年度決算も反転黒字には程遠い結果となり、

経営理念

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

士 魂 商 才

2期連続で厳しい経営状態が続きました。

2022年度は全社組織改編を行い、新たな体制のもと、「低重心」「高効率」「新視点」での改革を進めてまいります。又、本社組織に「安全品質統括部」「技術イノベーション統括部」「サステナビリティ推進室」を新設し、安全品質管理体制を整え、新規製品・サービス、事業開拓に向けた技術革新を推進すると共に、世界の持続的な発展に向けて貢献しつつ企業価値向上を目指してまいります。

世界規模での不安定な情勢はこれからも続くものと考えられますが、ジャムコは2030年にはどんな素晴らしい会社になっているのか、バックキャストで策定した中長期計画、「JAMCO Vision 2030 - Action Plan 2030」を始動して、強いレジリエンスを備えた「価値創造企業」として成長するよう尽力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

✈ 2022年3月期の業績について

当連結会計年度の世界経済は、感染症拡大の影響からの持ち直しが期待されましたが、新たな変異株の発生などによる感染再拡大の懸念やウクライナ情勢等による地政学リスクの顕在化などにより依然として不透明な状況が続きました。このようなかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート107円台から124円台で推移しました。

航空輸送業界では、国内線需要の回復に加え、各国の入国制限の緩和や撤廃などにより国際線需要についても徐々に回復してきたことから各エアラインは経費削減策を継続しつつも、一部のエアラインでは航空需要回復を見据えた機体発注や増員などの動きが見られました。又、航空機メーカーにおいても航空需要の回復に伴い、小型機を中心に一部機種では受注が増加しました。

このように、航空需要の回復が徐々にみられるなかで、当社グループでは、需要回復に対応すべく、全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、経費の削減、投資抑制、在庫削減等の経営の効率化を行いました。又、感染防止対策を徹

プロフィール

氏名(よみがな)	阿部 俊之(あべ としゆき)	
生年月日	1960年8月7日生	
略歴	1983年 4月	伊藤忠商事(株)入社
	2016年10月	同社プラント・船舶・航空機部門長補佐
	2017年 4月	同社プラント・船舶・航空機部門長代行、審議役
	2018年 4月	同社トルコ代表 イスタンブール事務所長
	2020年 4月	同社准執行役員トルコ代表 イスタンブール事務所長
	2021年 3月	当社 顧問
	2021年 4月	副社長執行役員(社長補佐)
	2022年 4月	社長執行役員、CEO
	2022年 6月	代表取締役社長、CEO 現在に至る

底すると共に、在宅勤務、シフト勤務、職場における作業エリアの分散など接触率の低減に努め、仕事量減少時には一時帰休やグループ外出向などにより臨機応変に対処しました。

航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、生産体制の効率化及び原価低減策の強化を進めました。又、お客さまが航空機に搭乗する際に抱く不安を少しでも解消できるように、清潔で衛生的なキャビン作りのための製品開発や収益力の高いビジネスクラス・シート「Venture」の他機種展開などに注力し、受注拡大を目指しました。

受注高は、感染症拡大の影響による航空需要の急激な落ち込みから低迷していましたが、ワクチン接種の効果が確認され、エアラインからの感染症拡大の収束を見込んだ受注が増加したことから、前期に比較して増加しました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取り組みを行うと共に、熱可塑CFRP(炭素繊維構造

部材)を活用した航空機用軽量機体部材の開発を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高39,078百万円(前期比 10,979百万円減)、営業損失3,174百万円(前期は、営業損失10,902百万円)、経常損失3,512百万円(前期は、経常損失11,756百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失4,081百万円(前期は、親会社株主に帰属する当期純損失13,585百万円)となりました。

今後の見通し

感染症拡大の収束時期は依然として不透明な状況が続いているものの、当社グループが関連する

2021年度
連結業績
ハイライト

売上高
39,078百万円
前期比**21.9%**減

営業利益
△3,174百万円

経常利益
△3,512百万円

親会社株主に
帰属する
当期純利益
△4,081百万円

航空輸送業界では、国内線需要の回復に加え、各国の入国制限の緩和や撤廃などにより、国際線需要も徐々に回復していることから、2022年度は中大型機の新造機生産機数の増加ペースは低調であるものの、既存機の運航機数は増加することを予想しています。

このようななかで当社グループでは、運航機数の増加によるエアライン向けスペアパーツ需要の増加が見込まれることから、スペアパーツ供給体制を強化し、確実に収益確保を行います。又、将来の新造機生産回復に備え全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、原価低減策を継続することで筋肉質な事業構造を構築し、収益力の改善に努めてまいります。

こうした状況を踏まえ、2023年3月期の連結業績見通しは、売上高53,900百万円、営業利益2,080百万円、経常利益1,280百万円、親会社株主

に帰属する当期純利益870百万円を見込んでいます。なお、前提となる為替レートは、1米ドル当り115円としています。

又、当社は株主配当に係る基本方針として、効率的経営に努め収益向上を図ることで、株主の皆さまには安定、かつ継続的に還元することを旨とし、連結配当性向20~30%を目安に配当額を決定するものとしておりますが、感染症拡大等によって甚大な影響を受けており、財務基盤の強化が当面の重要課題であることから、誠に遺憾ながら、当期の配当については前期に引き続き無配とさせていただきます。又、2023年3月期末の配当は見送らせていただく予定です。

株主の皆さまには、深くお詫び申し上げますと共に、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



JAMCO Vision 2030

技術と品質を翼に、快適で持続可能な未来へ

航空業界を基軸に培ってきた技術と品質を、先端技術とイノベーションにより進化させながら更なる事業領域の拡大を目指し、航空宇宙産業を通じた価値創造企業グループとして、快適で持続可能な社会へ貢献し続けます。

JX2022

基礎課題解決期

2022

2023

2024

JX2025

変革始動期

2025

2026

2027

JX2028

変革拡大期

2028

2029

2030

JAMCO Vision 2030に基づき、「成長」と「進化」を
遂げながら事業モデル変革を行うため、JX2022に取り組む

業務プロセス改革、技術力と品質の向上

- ・全社的に品質向上を図るために統括機能を強化
- ・業務プロセス改革による効率化推進
- ・既存事業の収益力向上
- ・生産管理基幹システムを刷新
- ・デジタルイゼーションによるスマートファクトリー化

先端技術とイノベーションによる事業領域の拡大、価値創造企業グループへ

- ・事業部にとらわれないイノベーション活動の推進体制整備
- ・変革を促す人材の育成：戦略的DX(デジタルトランスフォーメーション)人材育成プログラムに着手
- ・新規事業への挑戦：「空飛ぶクルマ」Sky Drive社へエンジニア派遣など
- ・航空業界以外への進出：建築業界におけるCFRP活用など

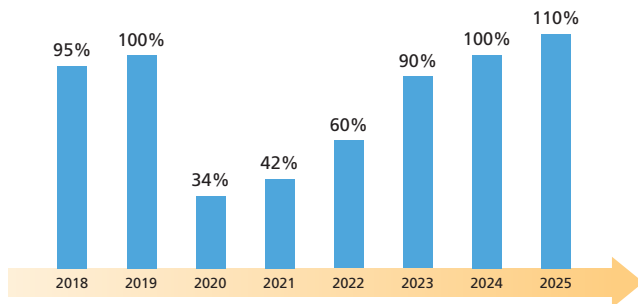
快適で持続可能な社会へ貢献

- ・CO₂排出の削減
- ・植物由来のサステナブルな素材の研究

2022年度計画策定の前提

- IATA(国際航空輸送協会)の予測などをベースに航空旅客需要を予測。
 - 2022年度は、2019年度の6割程度の需要。
 - コロナ禍以前の規模に需要が回復するのは2024年頃。
- 航空機メーカーの新造機生産は、2022年度は横ばい。2023年度以降段階的な増産。
- エアライン向けは、スペア部品や客室改修用内装品の需要が回復基調。

航空旅客需要の回復イメージ
(2019年度を100%とする)



(IATA予測値などを参考に当社にて作成)

需要回復の手応えと業績回復への施策

コスト削減効果と需要回復により2022年度は経常利益黒字化へ2023年度以降の更なる市場の回復に備えた施策を実施。

- 航空需要回復の手応え：
 - スペア部品受注は、航空旅客需要予測通りに回復。
 - 客室改修用内装品やシートの受注も着実に増加。
 - 2021年度受注額467億円。前年比98%増加。
- 応需能力回復への施策：
 - サプライチェーンの強靱化への取組み。
 - フィリピン工場の能力・機能拡張計画に着手。
 - 新卒採用の再開及び、グループ外出向者の帰任。
 - 新規製品開発に向けた試験研究費の反転増加。
 - 新生産管理システム(ERP)の刷新。
 - RPA導入によるスペア部品関連業務の効率化。
- サステナビリティへの対応：
 - サステナビリティ基本方針を策定、ESG/SDGs活動を推進。

中期経営計画指標

収益性指標 連結経常利益率 **7%以上**

効率性指標 連結ROA **7%以上**

安全性指標 自己資本比率 **30%以上**

配当方針 連結配当性向 **20~30%**

(財務基盤の強化を優先しつつ、早期の復配を目指す)

■ 事業別見通し

航空機内装品 セグメント

既存機の運航増加に伴う売上と収益の回復

- 航空機メーカーによる新造機生産は2022年度横ばい、2023年度以降は段階的に回復。
- 既存機の運航は回復傾向。スペア部品や改修用内装品の需要が着実に回復。

航空機シート セグメント

「Venture」の販売拡大による着実な収益化

- 新造機生産スケジュール変更の影響により、経常利益の黒字化は2023年度の見込み。
- 「Venture」の他機種展開及び次期ビジネスクラス・シートの市場投入による受注拡大を目指す。

航空機器製造 セグメント

更なる合理化による収益改善

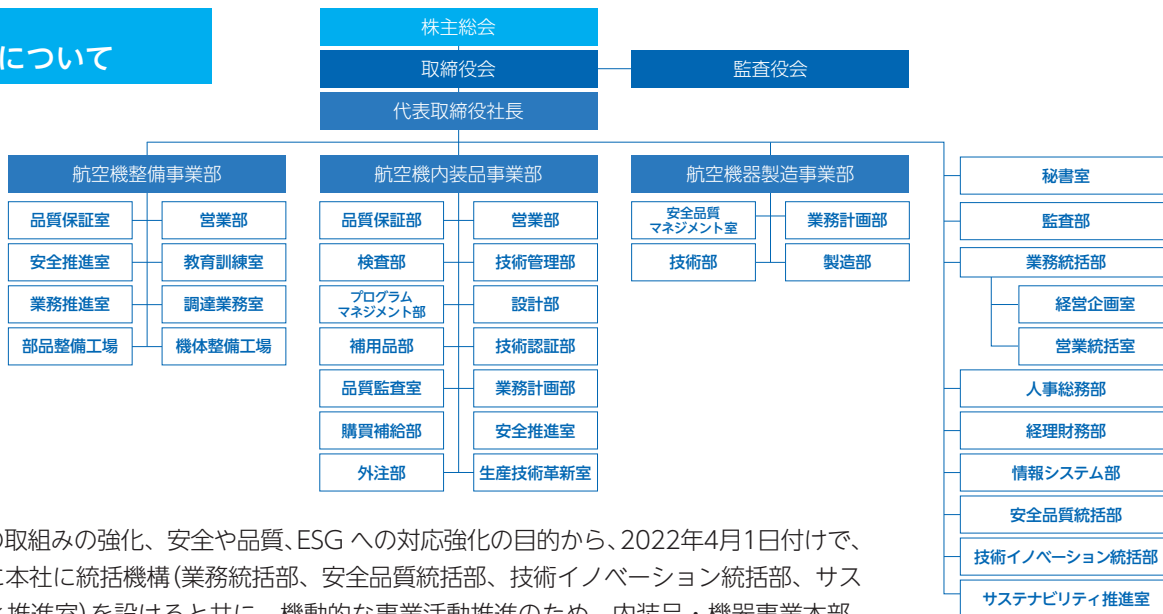
- 製造工程や、製造拠点の見直し等による収益改善の取組み。
- エアバスの機体生産レート逡増に伴う構造部材の売上増加を見込む。

航空機整備 セグメント

官需・民需のバランスによる安定的な収益構造の確保

- エアライン運航率の回復等により2022年度は売上増加。
- 2023年度以降、エアライン関連部品整備はコロナ禍以前の水準へ。
- 各種官需ビジネスの取組みにより安定的な収益構造を確保。

Governance
組織改編について



新事業への取組みの強化、安全や品質、ESG への対応強化の目的から、2022年4月1日付けで、当社は新たに本社に統括機構(業務統括部、安全品質統括部、技術イノベーション統括部、サステナビリティ推進室)を設けると共に、機動的な事業活動推進のため、内装品・機器事業本部、営業本部、技術本部を廃して、3つの事業部制に改編いたしました。

サステナビリティ推進室では、当社のビジョンや経営戦略に影響を及ぼすような、サステナビリティに関する重要な方針、施策、重要課題等の決定や諸活動の統括を行うなど、グループの持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。

サステナビリティに関する基本方針

ジャムコグループは、自然との共生をはかり、
企業活動を通じて人々の幸せと豊かな社会づくりを追求し、世界の持続的な発展に貢献していきます。

- グローバル社会が直面する地球環境問題をはじめとした様々な課題に挑戦します。
- 地球温暖化の問題を喫緊の課題と認識し、あらゆる環境負荷低減施策に取り組みます。
- 事業環境の変化を新たな成長の機会と捉え、より安全で安心な製品・サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりと企業価値の向上を目指します。

Governance

品質問題の再発防止に向けた取組みの進捗について

2019年11月12日付「当社航空機内装品製造事業における業務改善命令に対する改善措置の提出について」にて、第三者による特別調査委員会の調査によって明らかになった事実関係と共に、その原因分析や再発防止策を公表しております。

安全と品質の体制強化のため、当社は本社機構の品質企画部と安全推進統括部を統合し、安全品質統括部を新たに設置いたしました。この組織は、ジャムコグループ全体の安全と品質のマネジメントシステムを統括し、その機能の更なる向上を図るために新設しました。この新しい体制のもと、当社は安全・品質文化の醸成に引き続き取り組み、お客さまが安心できる製品及びサービスを提供し続けます。



Social

人財育成

人財育成・人事制度の見直しによりグローバルに活躍できる

優秀な人財を育成するために当社では新たな制度の運用を開始いたしました。

■ キャリアディベロップメントプログラムの構築

キャリアローテーション制度やサクセッションプラン（職制の後継者を育成する取組み）を昨年度導入し、幅広い視点で物事をとらえ・考え・判断できる人財を育成する仕組みの本格運用を開始しました。

Social

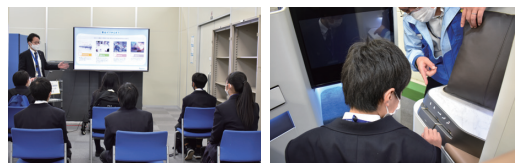
社会貢献

ジャムコグループでは、経営理念の実現に向けてCSRを推進し、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を大切に、豊かで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

Environment
環境活動

■ 中学生向けに社会科見学会を開催

2021年11月、立川市の中学生向けに社会科見学会を開催しました。社会科見学会では当社の事業内容の説明や航空機シートやラバトリーのモックアップ（実寸模型）の案内を行いました。次代を担う学生に航空機への興味や関心を持っていただけるよう、継続的に開催していきます。



■ 武蔵野の森公園清掃活動の実施

2022年1月、武蔵野の森公園事務所と協力して、落ち葉清掃活動を実施しました。武蔵野の森公園は調布飛行場を囲うように広がっており、当社事業所と隣接し、その広さは385,750㎡に及んでいます。



■ 使用済み切手の回収・寄付活動

2022年2月、社内で回収した使用済み切手等を認定NPO法人に寄付しました。使用済み切手は専門の業者に売却され、その売上が世界の子どもたちへのワクチン支援活動に活用されます。



■ 災害備蓄品の寄付・フードドライブの実施

2021年10月、フードバンク立川へ災害備蓄品の寄付を行いました。又、2022年3月には初めてフードドライブを実施いたしました。災害備蓄品等の寄付は2018年度から継続的に実施しており、寄付した災害備蓄品等は、食料が必要な方々へ寄付されることで有効活用され、フードロスを減らすことに貢献しています。



※**フードドライブ**: 家庭で余った食料品を学校や職場等に持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや慈善団体等に寄付する活動

■ 空コンタクトケースの回収活動

HOYA(株)のプロジェクトである使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収活動に賛同し、空ケースの回収活動を実施しております。回収したケースは、当社から HOYA(株)へ提供した後加工され、様々なリサイクル製品に生まれ変わります。



■ ジャムコグループ環境保全活動の実施

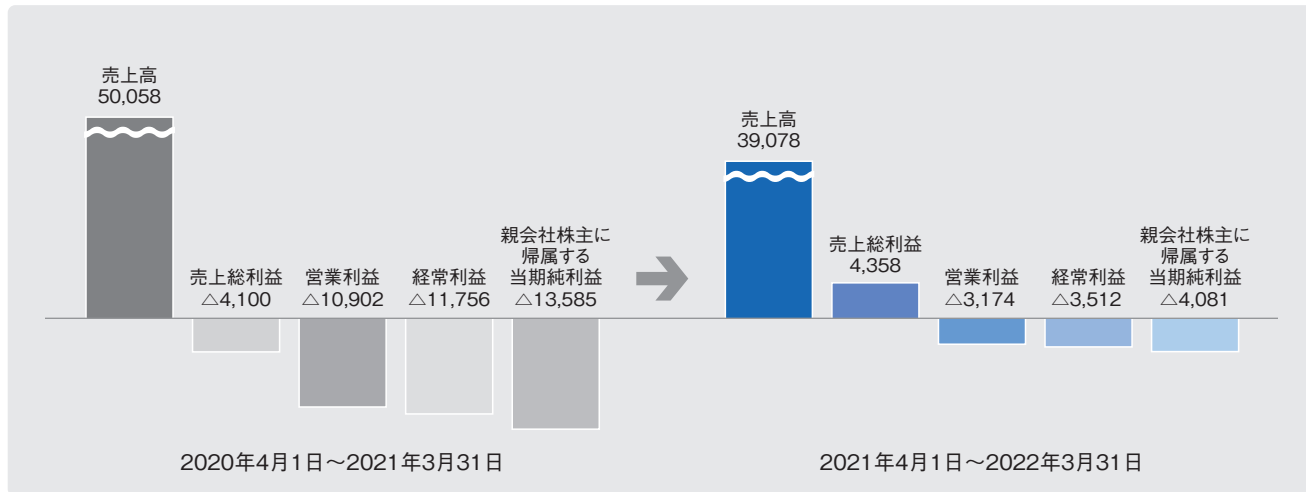
2022年3月、東京都主催の「東京グリーンシップ・アクション」に参加し、八王子滝山里山保全地域において自然環境保全活動を実施しました。今回で2回目の活動となります。

※**東京グリーンシップ・アクション**: 東京都が指定した保全地域において、都・企業・NPO等が連携して行う自然環境保全活動事業



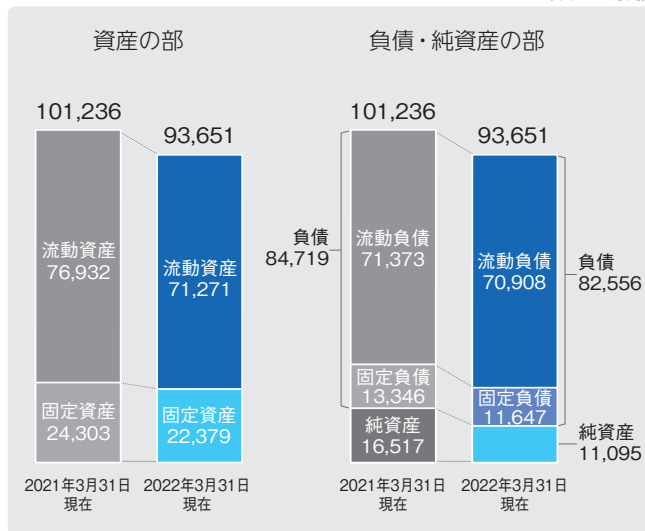
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



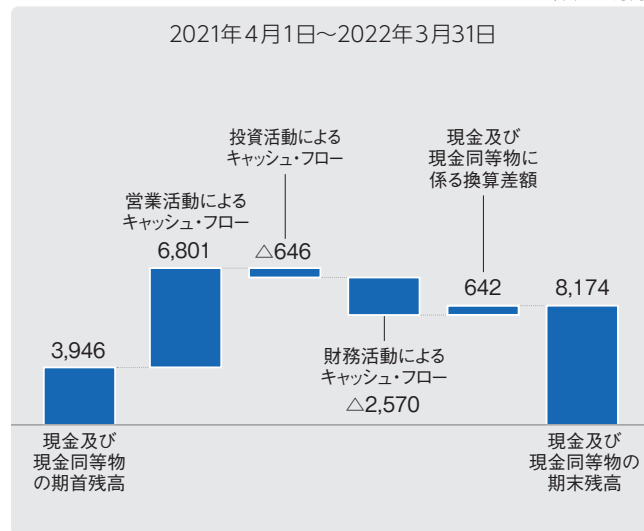
連結貸借対照表(要旨)

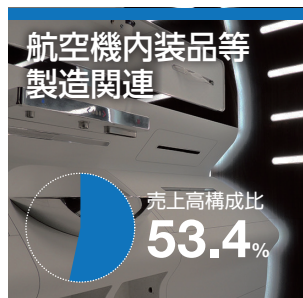
(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



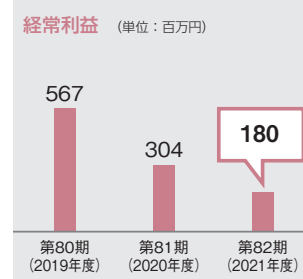
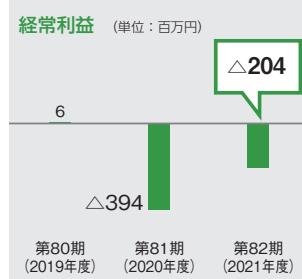
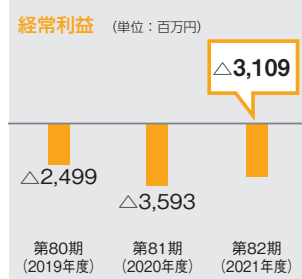
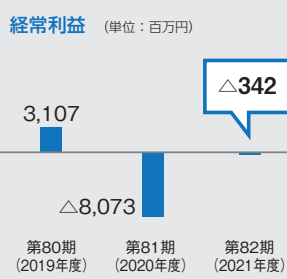
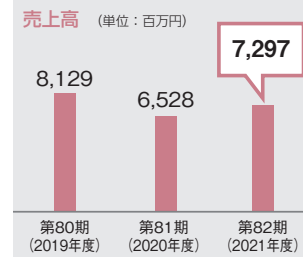
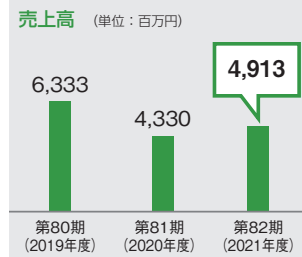
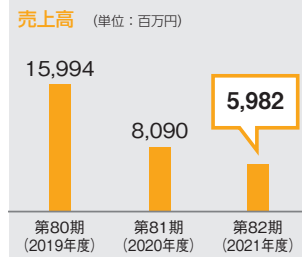
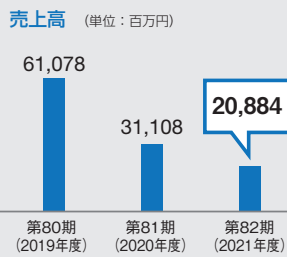


製品・サービス
 ギャレー
 ラバトリー
 ギャレーインサート

製品・サービス
 プレミアム・シート
 シートコンソール

製品・サービス
 空調用機器等
 航空機用エンジン部品
 航空機用炭素繊維構造部材

製品・サービス
 機体整備・改造
 装備品整備等



詳細な決算情報は、右記のQRコードから当社ホームページにアクセスいただき、「IR資料」からご覧いただけます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

▶ <https://www.jamco.co.jp/ja/ir/materials.html>



会社概要

会社概要 (2022年3月末現在)

商号	株式会社ジャムコ
本店	東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
本社	東京都立川市高松町一丁目100番地
設立年月日	1949年3月15日
創立年月日	1955年9月1日
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●航空機内装品等製造関連 ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品の製造 ●航空機シート等製造関連 航空機シート及びシートコンソール等の製造 ●航空機器等製造関連 熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造 ●航空機整備等関連 航空機の機体、装備品等の整備・改造
資本金	5,359,893千円
従業員数	連結：2,560名 個別：1,150名

役員／執行役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	阿部 俊之	常務執行役員	田所 務
代表取締役副社長執行役員	米倉 隆	常務執行役員	後藤健太郎
取締役専務執行役員	木村 敏和	常務執行役員	内城 浩
社外取締役	瀬川 夏樹	常務執行役員	神山 行雄
社外取締役	原田 茂	執行役員	脇 昭博
社外取締役*	鈴木 伸一	執行役員	小澤 恵治
社外取締役*	渡辺 樹一	執行役員	木本 幸浩
社外取締役*	鶴 由貴	執行役員	板倉 潮
常勤監査役	蕪木 昇	執行役員	小出 三郎
常勤監査役	粕谷 寿久	執行役員	鎌田 文彦
社外監査役*	高橋 均	執行役員	野々目慎一
社外監査役*	渡邊浩一郎		

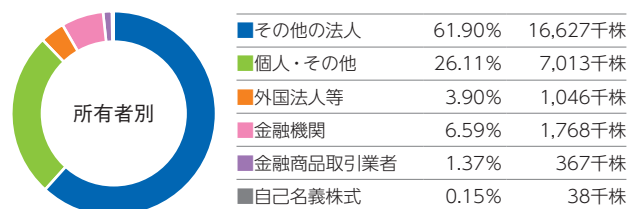
*東京証券取引所の規定する独立役員です。

株式の状況 (2022年3月末現在)

株式数・株主数・上場取引所

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	26,863,974株
株主数	6,991名
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード7408)

株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	8,956	33.38
ANAホールディングス株式会社	5,373	20.03
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,359	5.06
ジャムコ従業員持株会	425	1.58
INTERACTIVE BROKERS LLC	415	1.54
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	234	0.87
JP MORGAN CHASE BANK 385781	110	0.41
ジャムコ役員持株会	104	0.39
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	103	0.38

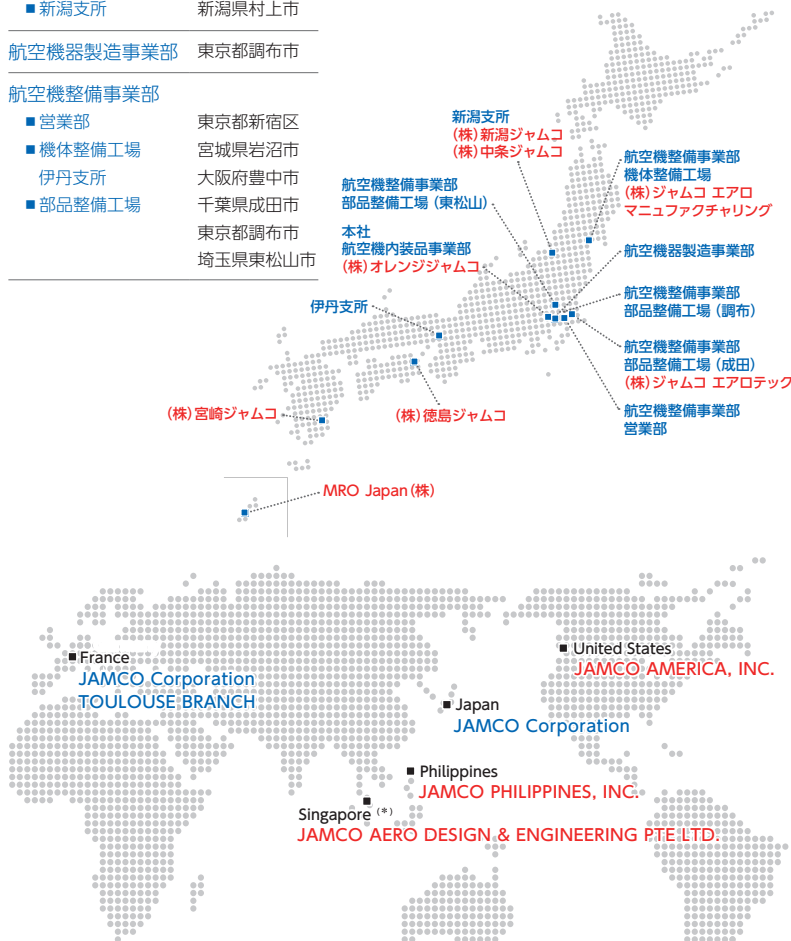
(注) 持株比率は、自己株式(38,964株)を控除して計算しております。

事業拠点 (2022年6月28日現在)

✈️ 事業所／子会社／関連会社一覧

本社	東京都立川市
航空機内装品事業部	東京都立川市
■新潟支所	新潟県村上市
航空機器製造事業部	東京都調布市
航空機整備事業部	
■営業部	東京都新宿区
■機体整備工場	宮城県岩沼市
伊丹支所	大阪府豊中市
■部品整備工場	千葉県成田市
	東京都調布市
	埼玉県東松山市

JAMCO 事業所・工場・支所
JAMCO 子会社・関連会社



(*) JAMCO SINGAPORE PTE LTD. は、2021年1月をもって解散し、清算手続きを進めております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることができない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社コーポレートサイト(https://www.jamco.co.jp/)においてご覧いただけます。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

最上級のくつろぎ空間

最新のデザイントレンドを追求したプレミアム・クラス・シート

プレミアム・クラス・シート Venture

当社グループの標準プラットフォームによるモジュラーデザインを採用したプレミアム・クラス・シートです。全席が通路から直接出入りができるダイレクト・アクセスのスタイルを採用し、ストレスなく座席にアクセスすることができます。各シートが通路に対して斜めに配置されるヘリンボーン型の配列により、程よいプライバシー感を保ちながら、限られた客室スペースを活かした効率的な配置ができます。機能的で洗練されたデザイン、フルフラット仕様、心地よい反発力のシートクッションで長旅もリラックスできる快適性を追求しています。

又、コンポジット（複合材）を用いた一体成型により従来のシートに比べ部品点数を大幅に削減しており、軽量化及び整備性の向上も実現しています。

特に、当社グループが開発したバックシェル（背もたれ）は、外部からの衝撃の吸収性を高い次元で実現した特殊構造を用いて設計されており、エアバッグシステム等の複雑な衝撃緩衝装備なしでも安全性の基準を満たすことにより、製品の信頼性を向上させて、重量及びコストの削減も実現しています。



ユニークなシート配列により、広い居住スペースを確保しつつ、より多くの座席数を実現したVenture

T O P I C S

当社はNTTソノリティ株式会社と共同で、パーソナライズドサウンドゾーン技術を用いたスピーカーをVentureに搭載する研究開発を行っております。このスピーカーにより、乗客はヘッドホンやイヤホンを装着しなくても、周囲への音漏れを気にせず、音楽・映画を楽しめるようになります。



パーソナライズドサウンドゾーン技術とは…

特殊なハードウェア技術・音響信号処理技術が組み込まれた専用スピーカーにより、イヤホンやヘッドホンといった装着型デバイスを使用せず、耳がオープンな状態で、特定のエリアに限定して音を再生する技術です。

株式会社 **ジヤムコ**

〒190-0011 東京都立川市高松町一丁目100番地
TEL:042-503-9900 (代表)

※本資料に記載されております当社の計画や予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に判断したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

※本資料で使用している文章、写真等の無断での複製・転載を禁止します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。